4 M E D J C (〇で囲め) 学籍番号

氏名

- 1. 次の複素数を複素平面上に図示せよ. また,極形式 $re^{i\theta}$ で表せ. ただし,偏角 θ の範囲を $0 \le \theta < 2\pi$ とする. (8点×2=16点)
 - (1) 1+i
 - (2) $-\sqrt{3}-i$
- 2. 次の値を求めよ.

(8点×3=24点)

- (1) Re(4-2i) + Im(3+i)
- (2) $(1+\sqrt{3}i)^6$
- (3) $\log i$
- 3. 以下の等式が成り立つことを証明せよ。 ただしがは自然を とする。 (オイラーの公式と定義式 $\cos z = \frac{e^{iz} + e^{-iz}}{2}$ を使う) (8 点× 2=16 点)
 - $(1) e^{i\pi} = -1$
 - (2) $\cos n\pi = (-1)^n$
- **4.** 関数 $u(x,y) = x^2 y^2 + 3x$ について、次の各問いに答えよ. (8点×3=24点)
 - (1) u(x,y) は調和関数であることを示せ.
 - (2) u(x,y) を実部とする正則関数 f(z) を <u>1つ</u> 求めよ
 - (3) 前間で求めた f(z) を z の式で表せ.
- **5.** 原点から点 1+i に至る図の線分を C とおくとき、 次の各間いに答えよ. $(4 \, \text{点} \times 2 = 8 \, \text{点})$
 - (1) 線分 C の方程式を z=z(t), $(a \le t \le b)$ の形で表せ、ただし、t は実数とする、
 - (2) 前間の結果を使って次の積分の値を求めよ、

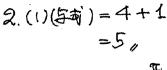
$$\int_{G} \overline{z} \, dz$$

- **6.** 点 α を中心とする半径rの図の円をCとおくとき、 次の各問いに答えよ、ただし、 α は定数、rは正の定 数である。(4 点× 3=12 点)
 - (1) 円 C の方程式を z = z(t), (a ≤ t ≤ b) の形で 表せ、ただし、t は実数とする。
 - (2) 前間の結果を用いて次の積分の値を求めよ.

$$\int_C \frac{1}{z-\alpha} \, dz$$

(3) 同様にして、次の積分の値を求めよ、

$$\int_C \frac{1}{(z-\alpha)^5} \, dz$$



$$(2)(5x) = (2e^{i\frac{\pi}{3}})^{6}$$

$$= 2^{6}e^{i2\pi t}$$

$$= (2^{3})^{2}$$

$$= 8^{2}$$

$$= 64$$

(3) (
$$5$$
) = log(i)+iargi Logz"(3) = log(i)- π \leq = 0+ $i\frac{\pi}{2}$ = $\frac{\pi}{2}i$

